

第125号

ちむ美らさ

発行: 北部農林水産振興センター
農業改良普及課
住所: 沖縄県名護市大南1-13-11
電話: 0980-52-2752
FAX: 0980-51-1013

目次

1P・土壌保全の日
2P・果樹の台風対策
3P・セグロリミバエ対策

3P・花の台風対策
4P・落花生栽培(伊江村)
5P・畜産 暑熱・サシバエ対策
6P・きび奨励品種・株出し体系

第35回 土壌保全の日 開催！

～次世代に残そう！農地はうまんちゅの宝～

北部地域農林水産業推進会議（会長：玉城 聡 当センター所長）は、「農業生産活動の現場から土壌の流出を未然に防ぎ、地力低下の防止や環境保全を図るため、「土壌保全月間」を設置し、関連行事を通じた農業生産者の意識啓発と関係者の相互連携の向上」を目的に、第35回土壌保全の日を、宜野座村との協力の下、開催しました。

今年は、宜野座村に移転した農業大学校の学生さんの参加もあり盛況でした。

日時：令和7年6月4日（水）13:30～15:00

場所：①宜野座村ふれあい交流センター

②宜野座村松田地区 耕土循環施設（2号砂防ダム）

内容：①赤土流出防止等講習会

講師：NPO法人グリーンネットワーク理事長 西原 隆 氏

②赤土流出防止対策施設 見学会

説明：宜野座村農林水産課 課長補佐 仲間 輔 氏



主催者あいさつ
(玉城 会長)



開催地代表あいさつ
(比嘉 副村長)



圃場でできる対策や事例を交えた
講習会（講師：西原 隆 氏）



赤土流出防止施設現地見学会
参加者、農大生からの質問も



赤土流出防止と耕土の
保全循環を目指した施設

※砂防ダムと堆積土の循環

砂防ダムでは、設置後のメンテナンスとして、沈砂池に堆積した土砂の浚渫と処分が必要。

当該施設では、沈砂池にろ過機能を付加、浚渫作業用のスロープ設置により、赤土の流出防止機能の向上と、施設の維持管理作業の容易化、更には、浚渫土の循環利用も目指している。

(担当：内藤)



バックナンバーは右のQRコードでご覧になれます。

果樹の台風対策事例



マンゴーの台風対策

事前対策

- (1) 風害抑制のため、ハウス外に防風ネットや防風垣を設置しましょう。
- (2) 強化型ハウス等は、内側にもネットを設置すると、防風効果が高くなります。
- (3) 枝が損傷した場合、かいよう病の原因となるので、殺菌剤を散布しましょう。



風すれ・塩害による葉の枯れ症状

事後対策

- (1) 塩害対策として樹全体に、**2～3トン/10a**を目安に散水しましょう。

(担当: 幸地)



パインアップルの台風対策

事前対策

- (1) 植付後の苗は台風対策として**日焼け防止ネット**等をべたがけし、鉄筋等で周囲を抑え対策しましょう。
- (2) 収穫前の圃場では、**倒伏防止・鳥獣害対策**も兼ねてパイプ等で支え、ネットをパッカー等で押さえて、株全体を覆うようにしましょう。



日焼け防止ネットのべたがけ

事後対策

- (1) 植付苗の芯部に入った土を**殺菌剤**で除去しましょう。
- (2) めくれた日除ネットや紙袋等は早急に直し、日焼け対策を行いましょう。

(担当: 伊波)

カンキツの台風対策

事前対策

- (1) 高接ぎや苗については、枝を棒で固定するなどして、折損防止に努めましょう。
- (2) **防風林**が未整備の場合、防風ネットの設置等に努めましょう。
- (3) 台風後の病害発生(特にカンキツかいよう病)を防止するため、台風接近**1～3日前**に**殺菌剤**を散布して予防に努めましょう。



かいよう病の発生した葉

事後対策

- (1) 台風後に雨が少ない場合は、塩害防止のため台風通過後**6時間以内**に、**10a当たり2～3トン**を目安に樹体に散水し、付着した塩分を洗い流しましょう。

(担当: 光部)

セグロウリミバエの被害が拡大しています

県内でセグロウリミバエの発生地域・寄生果実の発見が増加しています。無農薬の家庭菜園や農薬散布回数の少ない露地栽培での寄生果実の発見が増えています。

適切な栽培管理(袋掛け、ネット栽培、農薬散布等)をしてください。

また、不要な果実をほ場内外に放置すると、セグロウリミバエの発生源となる恐れがあります。ビニール袋へ密閉して捨てるか、十分な土をかけて埋設処分してください。

さらに、寄生の疑いがある果実を出荷しないよう、十分な選果をお願いします。(担当:栗田)

これまでに県内で寄生果実が発見された作物・植物

へちま、かぼちゃ、ゴーヤー、
とうがん、モウイ、シロウリ、
ケカラスウリ(野生種)、
キュウリ、ズッキーニ、
(熟した)パパイア、トマト、
ミニトマト、メロン、ユウガオ、
スイカ、マクワウリ

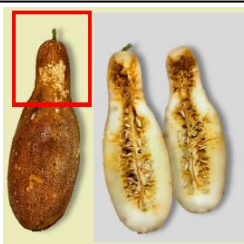
詳しくはQRコードから資料をご確認ください。
「セグロウリミバエ防除ハンドブック」
「不要果実・残渣の処分方法について」



産卵事例



ゴーヤー



モウイ



かぼちゃ



花きの台風対策事例



事前対策

- ・防風ネットを利用して、風対策を行ないましょう。
- ・マルチは土のう等で押さえましょう。
- ・キクでは親株から採穂して冷蔵保管しましょう。
- ・施設のネット等破損部分の確認・補修を行いましょう。



防風ネットのうきがけ

事後対策

- ・なるべく早く泥や塩分を洗い流し塩害等を防ぎましょう。
- ・殺菌剤の散布を行いましょう。
- ・破損した株や枝は早めに片づけましょう。
- ・うきがけの場合、台風通過後の強光対策で側面解放し、風通しをよくしましょう。
- ・じかがけの場合は早めに片付けましょう。



跳ね上がった泥を洗い流す

(担当:森)



セグロウリミバエの
まん延防止対策
営農支援課



セグロウリミバエの
防除対策
病害虫防除技術センター



農作物等台風対策マニュアル
(令和6年2月沖縄県農林水産部)
※野菜、花き、果樹、さとうきび

伊江島の落花生栽培振興

伊江島は昔から落花生菓子が有名です。

伊江村では、令和元年度から落花生の栽培振興に取り組んでおり、村が運営する一次加工所では、収穫から乾燥、脱莢、選別まで請け負い、加工原料として落花生むき身を1400円/kgで販売しています。

生産者のみなさま

7月以降、病害が発生します。

減収や品質低下につながるためしっかり防除を行いましょう。



図 落花生の主な病害の病徴（茎腐病、白絹病、褐斑病）

表 落花生の代表的な病気に登録のある薬剤

薬 剤 名	効果等	褐斑病	茎腐病	黒渋病	さび病	白絹病	そうか病
アフェットフロアブル	予＋治	○			○	○	
硫黄粉剤50	予	○		○			
ジマンダイセン水和剤	予	○					○
ダコニール1000	予	○					
トップジンM水和剤	予＋治	○	○	○			○
フロンサイド粉剤	予					○	
ベンレート水和剤	予＋治	○	○	○			○

「効果等」の欄の「予」は予防効果、「治」は治療効果を表します。

農薬の使用の際は必ずラベルの使用基準を確認しましょう。

上記は令和7年7月11日時点の登録情報です。

（担当：伊江村駐在 嘉数）

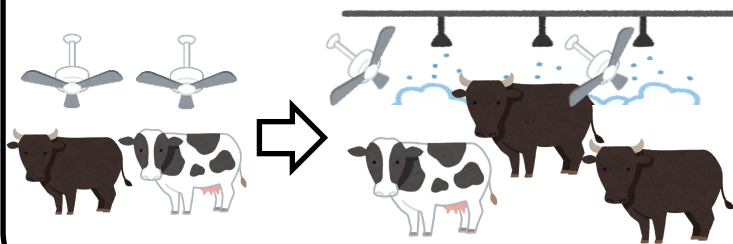
夏場の生産性を下げないためには ～暑熱対策とサシバ工対策～

今年も暑い日が続いています。暑熱は、家畜の採食量や受胎率の低下等を引き起し、生産性が悪くなってしまうので、家畜が健康で快適に過ごせる環境づくりが大切です。

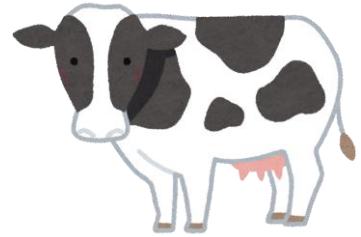
暑熱対策やサシバ工対策を行うことで、生産性の低下を防ぐことが期待できるので、自分の農場にあった実施可能な対策から取組んでみましょう。

暑熱対策の例

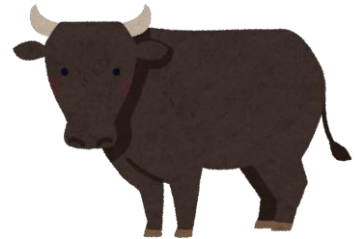
- 送風機による暑熱対策
 - ① 送風機の清掃により風速を上げる
 - ② 牛に当たるかつ畜舎内で風の流れができる角度で実施（畜舎外の空気が畜舎内に流れ込むようにするとさらにいい）
- 飼槽や牛房に直射日光が当たるような場所はよしず等を設置する
- ウォーターカップや飼槽の清掃など飲水量や採食量の確保に努める
- 細霧発生装置の利用
- 屋根への石灰散布や屋根の内側に遮熱シートを張る



乳牛は25℃以上



肉用牛は30℃以上



生産性や繁殖成績の低下
の原因になることも

サシバ工対策

サシバ工は吸血によって家畜にストレスを与えるだけでなく、感染症を媒介する可能性がありますので、少しずつできることから対策をしていきましょう。

○対策の例

- ・ 堆肥の切り返し頻度が月1回以上の場合は、発酵（堆積）前に石灰を混ぜる
- ・ 糞がたまりやすい場所に石灰を散布する。またはこまめな清掃を行う
- ・ 畜舎周辺の草刈りを行い、ハ工の休憩場所等を少なくする
- ・ ハッカ油を利用した忌避剤を作成し、畜体に噴霧する
（乳牛の場合は乳に混じらないように注意する）
- ・ 防虫ネットで牛舎等を囲う
- ・ 捕獲トラップを設置する



写真：捕殺トラップの例

さとうきびの新奨励品種と株出し栽培体系

さとうきび栽培においては、収穫作業を中心に機械化が進んでいます。植付け作業や株出し管理に関しても、さとうきび植付けが省力でき、株出し栽培に適した機械化一貫体系や、回数を重ねた株出し栽培でも安定して多収で、黒穂病に強い品種が育成されています。

これらについて、紹介します。

1. ビレットプランタでの植付けにも適性の高い新奨励品種「RK10-29」

◎茎数が多く、連続株出しで多収

各地での株出し3回までの収量は標準品種「NiF8」より28%増収、糖量も同等以上となる

◎株出しの障害となる黒穂病への抵抗性は極強

有傷接種検定において、「NiF8」を上回る極強

◎ケーンハーベスタ採苗、ビレットプランタ植付での発芽がよい

ビレットプランタとは

ハーベスタで収穫した細断茎（ビレット）をプランタのホッパに投入し、直接ほ場に植付ける機械です。



左「RK10-29」右「NiF8」

2. 上記の品種で植付け省力と連続株出し機械化一貫体系へ

茎数型連続株出し多収品種を用いた次世代型機械化一貫栽培体系※

※次世代型機械化一貫栽培体系：ビレットプランタ等の導入による植付け作業の省力化と株出し栽培体系



① ビレットプランタ植付け



② 乗用型管理機による栽培管理



③ 細断式収穫機による収穫



④ 株出し栽培

※植付けから収穫作業まで乗用型機械で実施

④ → ② → ③ を3回繰り返す